

児童福祉施設（保育所）に通所している幼児の 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間における食生活の変化

研究分担者 坂本達昭（熊本県立大学）
野末みほ（常葉大学）

研究要旨

目的：2020年4月～5月の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間（以下、緊急事態宣言期間）と、それ以前（2020年1月～2月頃）を比較した勤務形態、家庭の食生活、子どもの食事の変化の概要を明らかにするとともに、家庭の収入と緊急事態宣言期間における勤務形態、家庭における食生活、子どもの食事の変化の関連を明らかにすることを目的とした。

方法：2020年9～12月に全国5地区の公立または私立保育所等に在籍する3～5歳児の保護者を対象に質問紙調査を実施した（横断研究）。回答を得た589名のうち、無効回答を除く578名を解析対象とした。単純集計を確認した後、世帯員1人あたり収入を3分位に分け（収入高群、収入中群、収入低群）、収入と緊急事態宣言期間における勤務形態、家庭における食生活、子どもの食事の変化の関連を χ^2 検定を用いて検討した。

結果：収入低群は父親、母親共に在宅勤務をしていた者が少なく、父親は通常勤務、母親は休業があった者が多かった。また、収入低群は、子どもの食事の変化としてインスタント食品、主食のみの食事、お菓子や甘い飲み物が増えた者が多かった。

結論：世帯収入と緊急事態宣言期間における子どもの食事の変化は関連があることが示唆された。

A. 研究目的

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、欧米では都市封鎖（ロックダウン）の措置が取られた。ロックダウン期間中の食行動や食品購買行動¹⁾、生活習慣²⁾の変化等が報告されている。同様に日本国内における新型コロナウイルス感染症の拡大による生活や食生活等の変化も報告³⁾されている。しかし、社会経済状況を考慮したうえで新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間（以下、緊急事態宣言期間）の家庭に

における食生活や子どもの食事の変化を調査した報告はみられない。

そこで本研究では、2020年4月7日（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県以外の道府県については、4月16日）から5月31日の緊急事態宣言期間と、それ以前（2020年1月～2月頃）を比較した食生活の変化の概要を明らかにするとともに、家庭の収入と緊急事態宣言期間における勤務形態、家庭における食生活、子どもの食事の変化の関連を明らかに

することを目的とした。

B. 方法

1. 対象者および調査方法

2020年9～12月に全国5地区（札幌市，川崎市，浜松市，松山市，熊本市）の公立保育所（計14園：札幌市3園，川崎市2園，浜松市4園，松山市2園，熊本市3園），私立保育所または認定こども園（計15園：札幌市4園，川崎市3園，浜松市3園，松山市2園，熊本市3園）に在籍する3歳児，4歳児，5歳児の保護者に調査協力を依頼した。協力を得た園の3～5歳児の在籍者数は合計2,041名であった。

調査票は，1) 食生活等に関する調査，2) 緊急事態宣言期間における食生活等の調査の2部で構成され，児の保護者に回答を依頼した。調査票を回収した際に，不備があった場合は，園を通じて保護者に再度，回答を依頼した。

2. 倫理的配慮

調査を行うにあたって，本調査の主旨，内容，個人情報保護方針を調査協力依頼書に記載し，保護者に配布した。調査に協力する場合は，保護者から園に同意書を提出してもらった。

調査協力者が調査票を提出する際は，封筒に封をして提出してもらった。調査票回収後は，各地区の研究者がデータを統合し，個人を特定できないようにID番号によりデータを管理した。なお，本調査は新潟県立大学倫理委員会の審査・承認を得て実施した。

3. 調査項目

1) 食生活等に関する調査

家族構成，世帯年収，保護者の学歴，食生活等の全16問からなる自記式質問紙を用

いた。本報告では，家族構成（世帯人数），世帯年収の質問項目を解析に用いた。

世帯年収は，「あなたの家族の過去1年間の年間収入（勤労収入，自営業等の事業収入，農業収入，不動産収入，利子・配当金，ボーナス，年金を含め，税込）は，だいたいどれくらいになりますか。家計を一緒にしている方，全員の収入を合算してお答えください。」という質問に，「1. 100万円未満 2. 100万円～200万円未満，3. 200万円以上～300万円未満，4. 300万円以上～400万円未満，5. 400万円以上～500万円未満，6. 500万円以上～600万円未満，7. 600万円以上～700万円未満，8. 700万円以上～800万円未満，9. 800万円以上」の中から回答してもらった。

2) 緊急事態宣言期間における食生活等の調査

緊急事態宣言期間における無登園期間，保護者の勤務形態，家庭における食生活の変化，子どもの食事の変化，運動頻度の変化，保育所から子どもの食事に関する情報提供の有無ならびに食事や就寝時刻などについてである。本報告では，緊急事態宣言期間の保護者の勤務形態，家庭における食生活の変化，子どもの食事の変化の質問項目を解析に用いた。

4. 解析対象者

調査には589名が回答した。589名を対象に単純集計を確認した。

家庭の収入と緊急事態宣言期間における勤務形態，家庭における食生活，子どもの食事の変化の関連については，589名のうち世帯年収の回答がなかった11名を無効回答として578名を解析対象とした（有効回答率：98.1%）。

5. 解析方法

1) 単純集計の結果

資料 1 に単純集計の結果を示す。

2) 世帯員 1 人あたりの収入による群分け

はじめに、世帯年収の回答を中間値 (100 万円未満は 50 万円, 100~200 万円は 150 万円, 200~300 万円は 250 万円, 300 万円以上は 350 万円) に置き換えた。次に、世帯年収の中間値を世帯人数の平方根で除した。この値を世帯員 1 人あたり収入として、世帯員 1 人あたり収入を 3 分位に分け、収入高群, 収入中群, 収入低群の 3 群に分けた。各群の収入を表 1 に示す。

2) 収入と緊急事態宣言期間における保護者の勤務状況, 食生活の変化等との関連

収入と緊急事態宣言期間における保護者の勤務状況, 食生活の変化等の関連は, χ^2 検定を用いて検討した。緊急事態宣言期間の家庭における食生活の変化および子どもの食事の変化については, 外出についての質問以外は「減った」と回答した者が少なかったため「変化なし」, 「減った」をまとめて解析した。外出についての質問は, 「増えた」と回答した者が 5% 未満と少なかったため, 「変化なし」, 「増えた」をまとめて χ^2 検定を行った。

統計解析には IBM SPSS Statistics 25 (日本アイ・ビー・エム株式会社) を用い, 有意水準は 5% とした (両側検定)。

C. 結果

1. 解析対象者の属性 (表 2)

有効回答を得た保護者の児は 3 歳児クラス 207 名 (35.8%), 4 歳児クラス 192 名 (33.2%), 5 歳児クラス 179 名 (31.0%) であった。居住地域は札幌市 80 名 (13.8%), 川崎市 164 名 (28.4%), 浜松市 114 名 (19.7%), 松山市 107 名 (18.5%), 熊本

市 113 名 (19.6%) であった。家族構成は, ひとり親世帯 33 名 (5.7%), ふたり親世帯 545 名 (94.3%) であった。収入と居住地域, 収入と家族構成は関連があり, 収入低群は熊本市, 松山市在住者に多く ($P < 0.001$), ひとり親世帯に多かった ($P < 0.001$)。

2. 地区と緊急事態宣言期間における保護者の勤務状況の関連 (表 3)

父親, 母親ともに札幌市, 川崎市に在宅勤務をしていた者が多かった。通常勤務や休業があった者の割合も地区による差が認められた。

3. 収入と緊急事態宣言期間における保護者の勤務状況の関連 (表 4)

収入低群において父親, 母親ともに在宅勤務をしていた者の割合が低かった。また, 収入低群においては, 父親は通常勤務であった者, 母親は休業があった者の割合が高かった。

4. 収入と緊急事態宣言期間の家庭における食生活の変化, 子どもの食事の変化の関連 (表 5-7)

子どもの食事の変化においては, 外出を除いて「減った」と回答した者の割合は, 「増えた」または「変化なし」と答えた者より低かった (表 5, 6)。回答分布を考慮して, 緊急事態宣言期間の家庭における食生活の変化, 子どもの食事の変化は, 回答を 2 値にまとめて解析を行った。その結果, 収入と家庭における食生活の変化には関連は認められなかった。収入と子どもの食事の変化においては, 収入低群は, 収入中群, 収入高群と比べて, お菓子や甘い飲み物 ($P=0.001$), 主食のみの食事 ($P=0.047$), インスタント食品 (インスタント麺, カップ麺, レトルト食品, スープの素, パスタソース) や缶詰 (以下, インスタント食品とする) ($P=0.005$) が増えた者が多かった (表 7)。

D. 考察

緊急事態宣言期間における食生活等の変化の概要を確認し（資料1）、家庭の収入と緊急事態宣言期間保護者の勤務状況、食生活の変化等の関連を検討した。その結果、一定数、緊急事態宣言期間において子どもと保護者が食事をする（共食）の増加など、食生活に好ましい変化があった者も確認された。一方、子どもの食事の変化には、収入による差が認められ、収入低群においてお菓子や甘い飲み物、主食のみの食事、インスタント食品が増加していた。

新型コロナウイルス感染症の拡大により人々の食生活は変化しており、変化は好ましい変化と、そうでない変化が起こっている¹⁴⁾。本調査においても、好ましい変化の1つとして対象者の36.9%が手作りの食事が増えたと回答している。同様の変化は、海外からも報告がある。スペインの成人を対象とした調査では、外出禁止期間中に自宅で調理することが増えた人が45.7%にのぼることが報告されている⁵⁾。

一部に食生活の好ましい変化が観察されたことに対して、収入低群の子どもの食事は、その他の群と比べインスタント食品、主食のみの食事、お菓子や甘い飲み物が増えた者が多かった。緊急事態宣言期間中に母親の勤務状況が通常勤務ありだった者に比べて、通常勤務がなかった者ほど、主食のみの食事、インスタント食品、お菓子や甘い飲み物が増加していた（データ未表示）。在宅時間が増加したことによって、自宅での食事機会が増え、調理担当者の負担が大きくなったことが、この結果に影響している可能性がある。

既に世帯の収入と子どもの食生活が関連することは確認されている⁶⁾。こうした先

行研究をふまえた本研究の新たな知見は、緊急事態宣言期間中においても世帯収入と保育所に通う子どもの食事の変化には関連があり、収入が低い群ほど、好ましくない変化が生じていることを確認した点である。

WHO（World Health Organization）は、「コロナ禍における子どもの食事」として、家で調理をすること、未加工の食品を子どもに提供すること、おやつには砂糖や塩分を多く含むものでなく生の野菜や果物を食べることなどを推奨している⁷⁾。しかしながら、家庭の社会経済状況によっては、こうした食生活の実践は難しいことが示唆された。

本研究には、いくつか限界点がある。1点目として、家庭における食生活や子どもの食事の変化についての回答は対象者の主観によるため、変化の度合いについては分からない。2点目に、収入と勤務状況、収入と食生活の変化を検討する際に、その他の交絡要因を考慮できていないことがあげられる。今後その他の要因についても考慮したうえで、新たな解析を行う必要がある。

E. 結論

保育所に通う3～5歳児の保護者を対象にして、家庭の収入別に緊急事態宣言期間における勤務状況や食生活の変化の違いを検討した。その結果、収入低群において、父親、母親ともに在宅勤務をしていた者が少なく、父親は通常勤務であった者、母親は休業があった者が多かった。子どもの食事の変化としては、収入低群においてお菓子や甘い飲み物、主食のみの食事、インスタント食品が増えた者が多いことが確認され、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中においても、世帯収入と保育所に通う子どもの食生活が関連していることが示唆さ

れた。

参考文献

- 1) Poelman, M.P., Gillebaart, M., Schlinkert, C., et al.: Eating behavior and food purchases during the COVID-19 lockdown: A cross-sectional study among adults in the Netherlands, *Appetite*, doi.org/10.1016/j.appet.2020.105002 (2021)
- 2) Di Renzo, L., Gualtieri, P., Pivari, F., et al.: Eating habits and lifestyle changes during COVID-19 lockdown: An Italian survey. *J. Transl. Med.*, **18**, 1–15 (2020)
- 3) 第一生命経済研究所:「緊急事態宣言」発令直前に聞いた新型コロナウイルスによる生活と意識の変化に関する調査(後編). http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/pdf/ldi/2020/news2004_02.pdf (2021年3月24日)
- 4) Sarah, S., Sophie, M.: Food & meal decision making in lockdown: How and who has Covid-19 affected? *Food Qual. Prefer.*, doi: 10.1016/j.foodqual.2020.104145 (2021)
- 5) Rodríguez-Pérez, C., Molina-Montes,

E., Verardo, V., et al.: Changes in dietary behaviours during the COVID-19 outbreak confinement in the Spanish COVID-19 study. *Nutrients*, **12**, 1–19 (2020)

6) 碓野佐也香, 中西明美, 野末みほ, 他: 世帯の経済状態と子どもの食生活との関連に関する研究, *栄養学雑誌*, **75**, 19-28 (2017)

7) World Health Organization: Feeding babies and young children during the COVID-19 outbreak, <http://www.emro.who.int/nutrition/nutrition-infocus/feeding-babies-and-young-children-during-the-covid-19-outbreak.html> (2021年3月24日)

F. 健康危機情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表 1 群別の世帯員 1 人あたりの収入

	平均値(標準偏差)
低群 (n=196)	1,971 (511)
中群 (n=196)	3,220 (357)
高群 (n=186)	4,274 (386)

単位：千円

表 2 解析対象者の属性

	全体 (N=578)		収入低群 (n=196)		収入中群(n=196)		収入高群(n=186)		P
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
年齢									
3歳児クラス	207	(35.8)	76	(38.8)	70	(35.7)	61	(32.8)	0.558
4歳児クラス	192	(33.2)	63	(32.1)	60	(30.6)	69	(37.1)	
5歳児クラス	179	(31.0)	57	(29.1)	66	(33.7)	56	(30.1)	
居住地域									
札幌市	80	(13.8)	24	(12.2)	28	(14.3)	28	(15.1)	<0.001
川崎市	164	(28.4)	36	(18.4)	47	(24.0)	81	(43.5)	
浜松市	114	(19.7)	31	(15.8)	47	(24.0)	36	(19.4)	
松山市	107	(18.5)	53	(27.0)	31	(15.8)	23	(12.4)	
熊本市	113	(19.6)	52	(26.5)	43	(21.9)	18	(9.7)	
家族構成									
ひとり親世帯	33	(5.7)	25	(12.8)	6	(3.1)	2	(1.1)	<0.001
ふたり親世帯	545	(94.3)	171	(87.2)	190	(96.9)	184	(98.9)	

検定方法： χ^2 検定

表 3 地区と緊急事態宣言期間における保護者の勤務状況の関連

	全体 (N=578)		札幌市(n=80)		川崎市(n=164)		浜松市(n=114)		松山市(n=107)		熊本市(n=113)		P値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
母親 (通常勤務)													
なし	176	(31.1)	24	(30.4)	74	(46.5)	27	(24.1)	20	(19.0)	31	(27.9)	<0.001
あり	390	(68.9)	55	(69.6)	85	(53.5)	85	(75.9)	85	(81.0)	80	(72.1)	
母親 (在宅勤務)													
なし	469	(82.9)	67	(84.8)	97	(61.0)	104	(92.9)	100	(95.2)	101	(91.0)	<0.001
あり	97	(17.1)	12	(15.2)	62	(39.0)	8	(7.1)	5	(4.8)	10	(9.0)	
母親 (休業)													
なし	479	(84.6)	59	(74.7)	128	(80.5)	97	(86.6)	96	(91.4)	99	(89.2)	0.008
あり	87	(15.4)	20	(25.3)	31	(19.5)	15	(13.4)	9	(8.6)	12	(10.8)	
父親 (通常勤務)													
なし	80	(14.8)	15	(20.0)	50	(32.1)	11	(10.6)	2	(2.1)	2	(1.8)	<0.001
あり	460	(85.2)	60	(80.0)	106	(67.9)	93	(89.4)	92	(97.9)	109	(98.2)	
父親 (在宅勤務)													
なし	439	(81.3)	56	(74.7)	96	(61.5)	90	(86.5)	91	(96.8)	106	(95.5)	<0.001
あり	101	(18.7)	19	(25.3)	60	(38.5)	14	(13.5)	3	(3.2)	5	(4.5)	
父親 (休業)													
なし	512	(94.8)	65	(86.7)	142	(91.0)	103	(99.0)	92	(97.9)	110	(99.1)	<0.001
あり	28	(5.2)	10	(13.3)	14	(9.0)	1	(1.0)	2	(2.1)	1	(0.9)	

検定方法: χ^2 検定

表 4 収入と緊急事態宣言期間における保護者の勤務状況の関連

	全体 (N=578)		収入低群 (n=196)		収入中群(n=196)		収入高群(n=186)		P値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
無登園期間									
1ヶ月以上あった	170	(29.6)	58	(29.7)	61	(31.3)	51	(27.7)	0.595
1～3週間あった	126	(22.0)	51	(26.2)	40	(20.5)	35	(19.0)	
1週間未満あった	111	(19.3)	35	(17.9)	38	(19.5)	38	(20.7)	
なかった	167	(29.1)	51	(26.2)	56	(28.7)	60	(32.6)	
母親 (通常勤務)									
なし	176	(31.1)	66	(34.6)	62	(32.1)	48	(26.4)	0.217
あり	390	(68.9)	125	(65.4)	131	(67.9)	134	(73.6)	
母親 (在宅勤務)									
なし	469	(82.9)	177	(92.7)	160	(82.9)	132	(72.5)	<0.001
あり	97	(17.1)	14	(7.3)	33	(17.1)	50	(27.5)	
母親 (休業)									
なし	479	(84.6)	148	(77.5)	167	(86.5)	164	(90.1)	<0.002
あり	87	(15.4)	43	(22.5)	26	(13.5)	18	(9.9)	
母親 (主婦、無職)									
なし	556	(98.2)	184	(96.3)	190	(98.4)	182	(100.0)	NA
あり	10	(1.8)	7	(3.7)	3	(1.6)	0	(0.0)	
母親 (その他休業)									
なし	518	(91.5)	172	(90.1)	176	(91.2)	170	(93.4)	0.499
あり	48	(8.5)	19	(9.9)	17	(8.8)	12	(6.6)	
父親 (通常勤務)									
なし	80	(14.8)	10	(5.8)	35	(18.7)	35	(19.3)	<0.001
あり	460	(85.2)	162	(94.2)	152	(81.3)	146	(80.7)	
父親 (在宅勤務)									
なし	439	(81.3)	161	(93.6)	152	(81.3)	126	(69.6)	<0.001
あり	101	(18.7)	11	(6.4)	35	(18.7)	55	(30.4)	
父親 (休業)									
なし	512	(94.8)	161	(93.6)	174	(93.0)	177	(97.8)	0.084
あり	28	(5.2)	11	(6.4)	13	(7.0)	4	(2.2)	
父親 (主婦、無職)									
なし	539	(99.8)	171	(99.4)	187	(100.0)	181	(100.0)	NA
あり	1	(0.2)	1	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	
父親 (その他休業)									
なし	538	(99.6)	172	(100.0)	186	(99.5)	180	(99.4)	NA
あり	2	(0.4)	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.6)	

検定方法：χ²検定 (期待度数が5未満のセルが20%以上の場合はNA(Not Applicable)とした)

表 5 収入と家庭における食生活変化の関連

	全体 (N=578)		収入低群 (n=196)		収入中群(n=196)		収入高群(n=186)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
① 母子さんと保護者との食事作りやおやつ作り								
増えた	269	(46.7)	96	(49.5)	90	(45.9)	83	(44.6)
変化なし	303	(52.6)	96	(49.5)	105	(53.6)	102	(54.8)
減った	4	(0.7)	2	(1.0)	1	(0.5)	1	(0.5)
② 母子さんと保護者が一緒に食事をする事								
増えた	190	(32.9)	57	(29.2)	61	(31.1)	72	(38.7)
変化なし	386	(66.9)	138	(70.8)	135	(68.9)	113	(60.8)
減った	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
③ 食事時間のゆとり								
増えた	185	(32.1)	64	(32.8)	62	(31.6)	59	(31.7)
変化なし	382	(66.2)	128	(65.6)	133	(67.9)	121	(65.1)
減った	10	(1.7)	3	(1.5)	1	(0.5)	6	(3.2)
④ 家計の中での食費の割合								
増えた	350	(60.6)	119	(60.7)	125	(63.8)	106	(57.0)
変化なし	215	(37.2)	72	(36.7)	65	(33.2)	78	(41.9)
減った	13	(2.2)	5	(2.6)	6	(3.1)	2	(1.1)

期待度数が5未満のセルが20%以上の場合が多いためP値を示していない

表 6 収入と子どもの食事との関連

	全体 (N=578)		収入低群 (n=196)		収入中群(n=196)		収入高群(n=186)	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
①菓子や甘い飲み物								
増えた	200	(34.7)	79	(40.3)	76	(39.0)	45	(24.2)
変化なし	373	(64.6)	116	(59.2)	119	(61.0)	138	(74.2)
減った	4	(0.7)	1	(0.5)	0	(0.0)	3	(1.6)
②田食・主菜・副菜がそろった食事								
増えた	66	(11.4)	22	(11.2)	25	(12.8)	19	(10.2)
変化なし	481	(83.2)	162	(82.7)	156	(79.6)	163	(87.6)
減った	31	(5.4)	12	(6.1)	15	(7.7)	4	(2.2)
③田食のみの食事								
増えた	68	(11.9)	29	(14.9)	26	(13.3)	13	(7.1)
変化なし	471	(82.2)	152	(78.4)	156	(79.6)	163	(89.1)
減った	34	(5.9)	13	(6.7)	14	(7.1)	7	(3.8)
④インスタント食品（インスタント麺、カップ麺、レトルト食品、スープの素、パスタソース）や缶詰								
増えた	159	(27.6)	69	(35.2)	52	(26.5)	38	(20.5)
変化なし	388	(67.2)	112	(57.1)	134	(68.4)	142	(76.8)
減った	30	(5.2)	15	(7.7)	10	(5.1)	5	(2.7)
⑤冷凍食品								
増えた	117	(20.3)	41	(20.9)	41	(21.1)	35	(18.8)
変化なし	432	(75.0)	146	(74.5)	144	(74.2)	142	(76.3)
減った	27	(4.7)	9	(4.6)	9	(4.6)	9	(4.8)
⑥持ち帰りの総菜								
増えた	124	(21.6)	43	(21.9)	49	(25.3)	32	(17.3)
変化なし	399	(69.4)	133	(67.9)	131	(67.5)	135	(73.0)
減った	52	(9.0)	20	(10.2)	14	(7.2)	18	(9.7)
⑦持ち帰りの弁当								
増えた	98	(17.0)	29	(14.8)	39	(20.1)	30	(16.2)
変化なし	418	(72.7)	143	(73.0)	141	(72.7)	134	(72.4)
減った	59	(10.3)	24	(12.2)	14	(7.2)	21	(11.4)
⑧持ち帰りのファストフード								
増えた	129	(22.4)	49	(25.0)	40	(20.6)	40	(21.5)
変化なし	403	(70.0)	128	(65.3)	145	(74.7)	130	(69.9)
減った	44	(7.6)	19	(9.7)	9	(4.6)	16	(8.6)
⑨惣食								
増えた	20	(3.5)	8	(4.1)	7	(3.6)	5	(2.7)
変化なし	219	(37.9)	85	(43.4)	71	(36.2)	63	(33.9)
減った	339	(58.7)	103	(52.6)	118	(60.2)	118	(63.4)
⑩田作りの食事								
増えた	213	(36.9)	63	(32.1)	77	(39.3)	73	(39.2)
変化なし	357	(61.8)	127	(64.8)	118	(60.2)	112	(60.2)
減った	8	(1.4)	6	(3.1)	1	(0.5)	1	(0.5)

期待度数が5未満のセルが20%以上の場合が多いためP値を示していない

表 7 収入と緊急事態宣言期間の家庭における食生活の変化，子どもの食事の変化の関連

	全体 (N=578)		収入低群 (n=196)		収入中群(n=196)		収入高群(n=186)		P値
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
家庭の食生活に変化									
① 親子さんと保護者との食事作りやおやつ作り									
増えた	269	(46.7)	96	(49.5)	90	(45.9)	83	(44.6)	0.614
変化なし・減った	307	(53.3)	98	(50.5)	106	(54.1)	103	(55.4)	
② 親子さんと保護者が一緒に食事をする									
増えた	190	(32.9)	57	(29.2)	61	(31.1)	72	(38.7)	0.116
変化なし・減った	387	(67.1)	138	(70.8)	135	(68.9)	114	(61.3)	
③ 食事時間のゆとり									
増えた	185	(32.1)	64	(32.8)	62	(31.6)	59	(31.7)	0.962
変化なし・減った	392	(67.9)	131	(67.2)	134	(68.4)	127	(68.3)	
④ 家計の中での食費の割合									
増えた	350	(60.6)	119	(60.7)	125	(63.8)	106	(57.0)	0.398
変化なし・減った	228	(39.4)	77	(39.3)	71	(36.2)	80	(43.0)	
子どもの食事の変化									
① 菓子や甘い飲み物									
増えた	200	(34.7)	79	(40.3)	76	(39.0)	45	(24.2)	0.001
変化なし・減った	377	(65.3)	117	(59.7)	119	(61.0)	141	(75.8)	
② 主食・主菜・副菜がそろった食事									
増えた	66	(11.4)	22	(11.2)	25	(12.8)	19	(10.2)	0.734
変化なし・減った	512	(88.6)	174	(88.8)	171	(87.2)	167	(89.8)	
③ 主食のみの食事									
増えた	68	(11.9)	29	(14.9)	26	(13.3)	13	(7.1)	0.047
変化なし・減った	505	(88.1)	165	(85.1)	170	(86.7)	170	(92.9)	
④ インスタント食品 (インスタント麺、カップ麺、レトルト食品、スープの素、パスタソース) や缶詰									
増えた	159	(27.6)	69	(35.2)	52	(26.5)	38	(20.5)	0.005
変化なし・減った	418	(72.4)	127	(64.8)	144	(73.5)	147	(79.5)	
⑤ 冷凍食品									
変化なし・減った	459	(79.7)	155	(79.1)	153	(78.9)	151	(81.2)	0.826
増えた	117	(20.3)	41	(20.9)	41	(21.1)	35	(18.8)	
⑥ 持ち帰りの総菜									
増えた	124	(21.6)	43	(21.9)	49	(25.3)	32	(17.3)	0.168
変化なし・減った	451	(78.4)	153	(78.1)	145	(74.7)	153	(82.7)	
⑦ 持ち帰りの弁当									
増えた	98	(17.0)	29	(14.8)	39	(20.1)	30	(16.2)	0.354
変化なし・減った	477	(83.0)	167	(85.2)	155	(79.9)	155	(83.8)	
⑧ 持ち帰りのファストフード									
増えた	129	(22.4)	49	(25.0)	40	(20.6)	40	(21.5)	0.548
変化なし・減った	447	(77.6)	147	(75.0)	154	(79.4)	146	(78.5)	
⑨ 惣食									
変化なし・増えた ¹⁾	239	(41.3)	93	(47.4)	78	(39.8)	68	(36.6)	0.084
減った	339	(58.7)	103	(52.6)	118	(60.2)	118	(63.4)	
⑩ 手作り食事									
増えた	213	(36.9)	63	(32.1)	77	(39.3)	73	(39.2)	0.244
変化なし・減った	365	(63.1)	133	(67.9)	119	(60.7)	113	(60.8)	

検定方法：χ²検定

1) 外食については，増えたと答えた者の割合が少なかつたため「変化なし」と「増えた」をまとめて解析した。